

令和5年度授業改善推進プラン【国語】

学校名 武蔵村山市立第七小学校

4年	【目指す授業】	学び方を知ることで、主体的に学習に取り組む力を伸ばすことができる授業			
	児童の実態・課題		具体的な手だて		
	○書いてあることを基に読み取ることが苦手である。 ○聞いたことを正しく理解することが苦手である。		○授業や宿題で音読に取り組む。人物の気持ちや場面の様子を捉えられるよう、話し合い、考えを共有する。 ○話し合い活動では、その目的を理解させたうえで、聞いて理解する力を高められるようにする。		
	評価指標		6月	目標値	2月
	他の人の話を聞くとときは、メモを取って理解するようにしている。		61.8%	70.0%	62.0%
	文章を読んで理解したことや考えたことなどを他の人に説明している。		63.8%	70.0%	63.1%
	【評価】	成果と課題			
B	○人物の気持ちを想像し、なりきって音読するよさを味わうことができた。 ○話し合いでは、意見を発表するのをためらってしまう児童が見られた。				

5年	【目指す授業】	学び方を知ることで、主体的に学習に取り組む力を伸ばすことができる授業			
	児童の実態・課題		具体的な手だて		
	○文章の読解力に差があり、文脈を正確に読み取ることが難しい場面が多くある。 ○聞いたことを正しく理解することが苦手である。		○文章の大事なところをどのように読み取っていけば良いかを具体的に指導する。 ○話し合い活動などを通して、聞いて理解する力を高められるようにする。		
	評価指標		6月	目標値	2月
	文章を理解できるように、大切だと思った部分や疑問に思った部分に線を引きながら読んでいる。		53.6%	60.0%	53.0%
	文章を読んで理解したことや考えたことなどを他の人に説明している。		50.0%	55.5%	56.0%
	【評価】	成果と課題			
B	○話し合い活動を増やすことで、聞いて正しく理解ができるようになった。 ○文脈を正確に読み取ることが課題のため、注目する部分を一つにするなど焦点化する。				

6年	【目指す授業】	学び合いで自分の考えを深め、表現する授業			
	児童の実態・課題		具体的な手だて		
	○文章を正しく読みとれず、要点をおさえたり要旨をまとめたりするのが難しい児童が多い。 ○自分の意見に自信がなく、他者に伝えるのに苦手意識がある。		○文章の構成を意識し、キーワードとなる語を見つけて読むなど、読む際の視点を明確にする。 ○学び合いで意見交換をする場を意識的に設け、自信をもつ。		
	評価指標		6月	目標値	2月
	文章を理解できるように、大切だと思った部分や疑問に思った部分に線を引きながら読んでいる。		51.7%	60.0%	52.4%
	文章を読んで理解したことや考えたことなどを他の人に説明している。		48.3%	55.0%	48.5%
	【評価】	成果と課題			
B	○接続語やキーワードを全体で確認することで、要点や要旨をまとめることにつながった。 ○自分の意見を他者に伝えることに課題があるため、見本や定型文などを示す。				

令和5年度授業改善推進プラン【算数】

学校名 武蔵村山市立第七小学校

4年	【目指す授業】	達成感を感じられる授業			
	児童の実態・課題		具体的な手だて		
	○ノートの記入に時間を要し、考えを深めたり、練習問題に取り組んだりする時間が確保されない。 ○解き方や考え方を説明することが苦手である。		○書くことの絶対量を軽減し、練習量の確保につなげる。 ○類似問題に取り組ませることで考えを応用したり、繰り返し使ったりして、自分の考えとして説明できるようにする。		
	評価指標		6月	目標値	2月
	テストやドリルで間違えたときは、似た問題を選んで、特に練習している。		60.8%	65.0%	63.7%
	問題文の内容を図や表、グラフに表して考えている。		60.8%	65.0%	61.3%
	【評価】	成果と課題			
B	○ノートに書く量を調節して、考える時間や練習の時間を確保できた。 ○既習事項を応用して新しい課題を考えることが難しいため、基礎的な力の定着を目指す。				

5年	【目指す授業】	問題解決を通して達成感を感じられる授業			
	児童の実態・課題		具体的な手だて		
	○学習内容の理解に時間がかかる児童が多い。 ○計算ができて、解き方を説明したり、立式決定について筋道を立てて考えたりするのが苦手な児童が多い。		○言葉や公式を活用しながら、簡単に計算ができる方法を使って解くことができるようにする。 ○説明の仕方を知ったり、数直線図などを利用したりして、自分の考えをまとめられるようにする。		
	評価指標		6月	目標値	2月
	テストやドリルで間違えたときは、似た問題を選んで、特に練習している。		57.3%	60.0%	57.0%
	問題文の内容を図や表、グラフに表して考えている。		50.0%	55.0%	51.1%
	【評価】	成果と課題			
B	○公式や重要語句を共有することで、学習内容の理解につながった。 ○解き方、考え方を説明することに課題があるため、図や言葉で伝え合う活動を増やす。				

6年	【目指す授業】	数学的な見方、考え方を働かせ、すすんで学ぶ授業			
	児童の実態・課題		具体的な手だて		
	○既習事項の定着が不十分である。 ○問題の意図を読み取ることや、図や式で考えを表現することを苦手とする児童が多い。		○基礎的な学習の復習を朝学習等を活用して行う。 ○図や表を活用して内容を整理し、考えを表現する機会を増やす。		
	評価指標		6月	目標値	2月
	テストやドリルで間違えたときは、似た問題を選んで、特に練習している。		51.7%	60.0%	54.2%
	問題文の内容を図や表、グラフに表して考えている。		56.1%	65.0%	54.4%
	【評価】	成果と課題			
B	○友達の考えを全体で共有することで、図や式で表現する児童が増えた。 ○既習事項の定着が課題のため、復習や適用問題に取り組む時間をさらに増やす。				